



上越 GIGA 通信

2020年10月30日

No.3

編集・発行

学校教育課 情報教育担当

《上越市ギガスクール推進チームについて》

上越市では、ICT機器の利活用実践の蓄積、教職員のICTスキル向上を目指す「上越市ギガスクール推進チーム(Joetsu GIGA school promotion team(通称G pro)」を設置いたしました。今回は、通称G pro について紹介します。

●「この指、とまれ」方式で

今回、以下の条件でG proの委員を公募させていただきました。

・iPhone や iPad を活用した授業実践に興味がある方

・ICTを活用した協働学習や個別最適化された学習に興味がある方

市教委が各校1名悉皆としなかった理由は、「自ら学ぶ意欲」=新しい学力観そのものを大切にできなかったからです。自ら学ぶ意欲を児童生徒に育むのは、自ら学ぶ意欲のある教職員であってほしいという願いがあります。今回、100人を超える委員から立候補いただきました。さすが上越市に勤務される教職員、気概を感じました。



●児童生徒の情報活用能力を育成する

G pro では、ICT環境を有効に活用し、「**情報活用能力の育成**」を目指した授業改善に先進的に取り組んでいただきます。「学習の基盤となる資質・能力」の一つである情報活用能力を、児童生徒に育むことで、結果として「主体的・対話的で、深い学び」が具現化されると考えます。

たまに「情報活用能力=プログラミング教育」という声を聞くことがありますが、プログラミング教育は、情報活用能力のごく一部です。詳しくは、以下のアドレスの報告書をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/01/28/1400884_1.pdf

【IE-Schoolにおける実践研究を踏まえた情報活用能力の要素の例示】

		分類
A. 知識及び技能	1	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 ①情報技術に関する技能 ②情報と情報技術の特性の理解 ③記号の組合せ方への理解
	2	問題解決・探究における情報活用の方法の理解 ①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ②情報活用の評価・改善のための理論や方法の理解
	3	情報モラル・セキュリティなどについての理解 ①情報技術の役割・影響の理解 ②情報モラル・セキュリティの理解
B. 思考力、判断力、表現力等	1	問題解決・探究における情報活用する力(プログラミング的思考・情報モラル・セキュリティを含む) ※事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力 ①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受け手の状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力 等
C. 学びに向かう力、人間性等	1	問題解決・探究における情報活用への態度 ①多角的に情報を検討しようとする態度 ②試行錯誤し、改善しようとする態度
	2	情報モラル・セキュリティなどについての態度 ①責任をもって適切に情報を扱うとする態度 ②情報社会に参画しようとする態度

●学校を超えて、横のつながり、連携した研修を

G pro では、チームに分かれて、実践を積み重ねるとともに、チームごとに児童生徒に情報活用能力を育成するために必要とされる、教員の能力ルーブリックを作成します。チームは、学校を超えて編制し、オンラインツールを使いながらミーティングを進めていきます。作成したルーブリックをもとに、上越 GIGA スクールマスター認定を実施していく予定です。



今回は、教育コラボ 2020 学び愛フェスタのシンポジウムについて報告します。